No.4

関連出版物のご紹介

JSGHP ECT COMMITTEE — BOOKS

ECTを知る、学ぶ、深めるための3冊。

歴史から、国際的な実践の指針、そしてチームで支えるECTまで。

01 ON SALE 好評発売中



〈電気ショック〉の時代

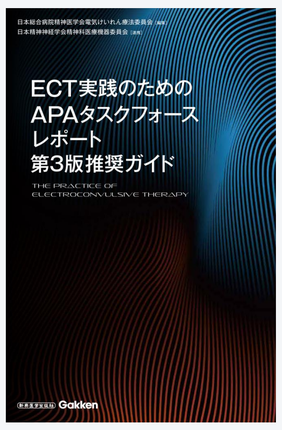
ニューロモデュレーションの系譜

E. ショーター、D. ヒーリー 著
川島啓嗣・青木宣篤・植野仙経・
諏訪太朗・嶽北佳輝 訳
みすず書房　2018年2月15日発売
四六判　544頁　定価6,380円（税込）
ISBN 978-4-622-08678-9

ECTは、なぜ今も強い偏見をもたれているのか。
インスリン昏睡療法やけいれん療法の誕生から、TMS・迷走神経刺激・深部脳刺激まで、精神科の身体療法の歴史を、当事者の証言と膨大な資料から辿ります。

出版社のページ

02 予約受付中 日本語版



ECT実践のためのAPAタスクフォース レポート　第3版 推奨ガイド



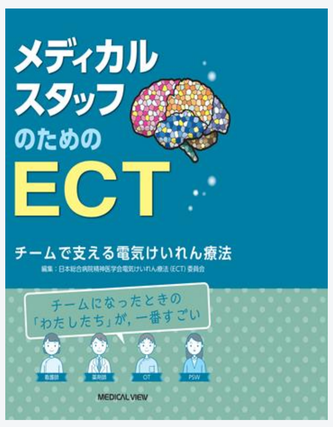
The Practice of Electroconvulsive Therapy, Third edition

日本総合病院精神医学会電気けいれん療法委員会［編集］
日本精神神経学会 精神科医療機器委員会［連携］
Gakken　**2026年12月10日発売**　209頁
ECT委員会で日本語版の翻訳
「日本の環境に運用する上での留意点」などについても解説

APA ECTタスクフォースによる、ECTの“バイブル”と称される標準的テキストの約20年ぶりとなる待望の改訂版。
1,100を超える新たな文献レビューをもとに、ECTを安全かつ効果的に実践するための最新の指針を網羅した、ECTに携わる医療者にとっての必読書です。

予約ページ

03 COMING SOON 編集中



表紙は制作中の案です

メディカルスタッフのためのECT

チームで支える電気けいれん療法

編集：日本総合病院精神医学会 電気けいれん療法（ECT）委員会

看護師　薬剤師　作業療法士　精神保健福祉士

ECTの適応判断から治療前の準備、治療の実際、治療後の対応、フォローアップまでを一連の流れに沿って解説。
現場で生じる疑問やトラブルにもQ&A形式でお答えします。
患者さんを支えるメディカルスタッフの視点から解説する、ECTの実践書。

収載例　1章　ECTの現在地「どんな患者が適応になるのか：チームの“気づき”が治療へとつながる」（坂寄 健）

COLUMN — ECT AROUND THE WORLD　オーストラリア　シドニー／ゴールドコースト

海外ECT事情 ── ECTチーム、そしてスティグマに挑む



Colleen Loo
ニューサウスウェールズ大学
教授／精神科医
コラム　教えてColleen先生
「もし自分がECTを受けるとしたら、どんなサービスで治療を受けたいか」

Colleen Loo インタビュー全文

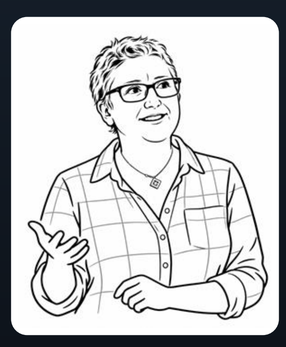


Lucia Wang
Ramsay Northside Clinic
看護マネジャー／ECTコーディネーター
コラム　ECT nurseという仕事
「怯えている患者さんに、安全で、尊重され、大切にされていると感じてもらう力もまた、ひとつの臨床技術です」

Lucia Wang インタビュー全文



Shanthi Sarma
Gold Coast Health
神経刺激・気分障害部門長／精神科医
コラム　スティグマに挑む
「最も信用されるのは、ECTの体験を持つ人です」



Titta Gigante
Gold Coast Health
アドバンスト・ピアワーカー
コラム　スティグマに挑む
「私たちの生きられた経験こそが、私たちの学位であり、専門性です」

Shanti Sarma & Titta Gigante インタビュー全文

VIDEO　動画で見る

The ECT Journey
ECTの実際の流れ

The Whole Story
スティグマについて

Gold Coast Health 制作
看護学生・医学生124名で、ECTへの態度が有意に改善
Sarma S, et al. 2023

日本総合病院精神医学会　電気けいれん療法（ECT）委員会　委員56名（50施設）

委員長　竹林 実（熊本大学）　副委員長　諏訪 太朗（京都大学）

広報部会　**大賀 健市（広島大学）**　青木 宣篤（関西医科大学）　越智 紳一郎（愛媛大学）　渡辺 杏里（京都府立医科大学）